

平成15年度 練習課題 保育士研修施設のある保育所 一級建築士通信課題

設計条件

この課題は、地方都市の市街地において、保育所入所待機児童が増加したことによる対応と、子育て環境を社会全体で支援する環境の整備として、保育士の研修施設と保育所を計画するものである。この施設は、保育所における教育の充実をめざし、現任保育士の質の向上を図ることを目的としたものである。

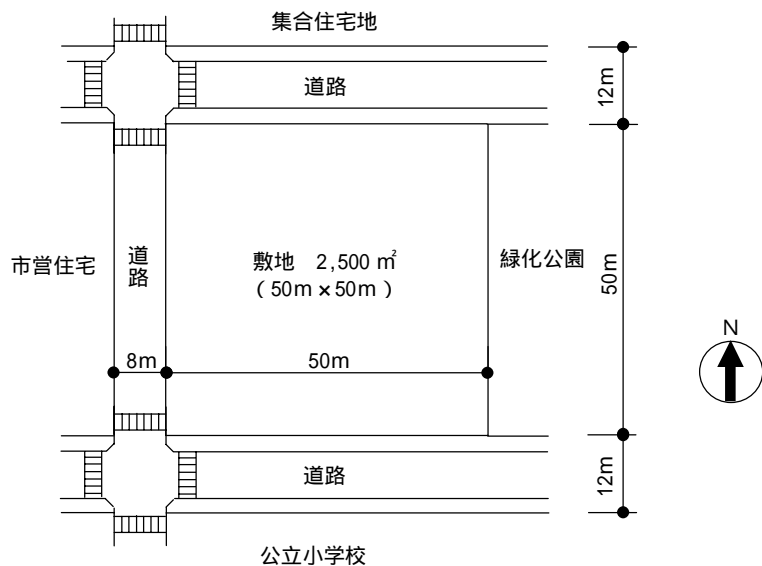
計画に当たっては、特に次のことが求められている。

敷地周辺の環境に配慮した建築物を計画するとともに、快適な居住空間を確保した計画とする。

保育施設部門と研修施設部門を適切にゾーニングした計画とするとともに、研修施設部門の研修生は研修過程の中で、保育施設部門に保育実習の参加ができるよう動線計画に配慮すること。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。  
北側 道路（幅員 12m）を挟んで、集合住宅がある。  
東側 緑化公園がある。  
南側 道路（幅員 12m）を挟んで、公立小学校がある。  
西側 道路（幅員 8m）を挟んで市営住宅がある。
- 敷地は、平たんで、道路及び隣地との高低差はないものとする。
- 敷地は、第二種住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は70%（特定行政庁が指定した角地における加算を含む。）、容積率の限度は200%である。なお、日影についての特別の配慮はしなくてよい。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好である。
- 気候は温暖で、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- ラーメン構造による鉄筋コンクリート造（一部を鉄骨造としてもよい。）地下1階、地上2階建とする。
- 地階を除く床面積の合計は、1,900㎡以上、2,200㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 不特定多数の者が日常的に利用する階段及びスロープについては、次のとおりとする。  
階段  
イ．幅は、内法を 1.5m 以上とする。  
ロ．けあげの寸法は、16cm 以下とする。  
ハ．踏面の寸法は、30cm 以上とする。  
スロープ  
イ．幅は、内法を 1.5m 以上とする。  
ロ．勾配は、1/12 以下とする 0
- 設備については、次のとおりとする。  
空気調和設備は、単一ダクト方式と個別方式とを併用する。  
冷暖房、給湯の熱源は電力とする。  
エレベーターは、来館者用として乗用 1 基（ロープ式・13 人乗、かごの床面積は 2.09 ㎡以上）を設ける。

3. その他の施設

- 屋外施設は、次のとおり計画する。  
敷地内と敷地外の相互の幼児動線を明確に区切り、幼児の安全に配慮する。また、幼児の日常の受入れは園庭を使用する。  
2 歳児から年長児が使用する園庭は 400 ㎡以上とし日当りに配慮し、砂場、鉄棒、ジャングルジムのついたすべり台、ブランコを設置する。  
来館者の駐車場は地上に平面駐車とし、4 台分（1 台当り 2m x 5m 程度）と身障者駐車場 1 台（1 台当り 3.5m x 5m 程度）の計 5 台とする。  
幼児用の食材搬入のためのサービス用駐車場を 1 台分設ける。  
駐輪場 13 台分（1 台当たり 0.5m x 2m 程度）を設ける。  
植栽を計画すること。
- ごみ置場（約 6㎡）を 1ヶ所設ける。
- 敷地内の通路に設けるスロープは、次のとおりとする。  
幅は、内法を 1.5m 以上とする。  
勾配は、1/12 以下とする。
- (1) ~ (5) の「その他の施設」は、床面積に算入しないものとする。

4. 所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	特記事項
保育所部門	0 歳児室	約 75 ㎡	・0 歳児の入所定員は 9 人とし、産休明け児 3 人を含む。 ・ベビーベッド 3 つ、ほふくコーナー、食事コーナーを適宜計画する。
	調乳室、沐浴室	計約 25 ㎡	・0 歳児保育室に隣接し、各 1 室ずつ設ける
	1・2 歳児室	約 100 ㎡	・1 歳～2 歳児の保育室で、入所定員は合計 15 人とする。 ・ほふくコーナー、幼児用のトイレ、幼児ロッカーを計画する。（トイレの手洗いは保育室内の手洗いと兼用する。）
	年少保育室	約 75 ㎡	・3 歳児の入所定員は 25 人とする。 ・幼児用のトイレ、幼児ロッカーを計画する。（トイレの手洗いは保育室内の手洗いと兼用。）
	年中・年長保育室	計約 150 ㎡	・4 歳と 5 歳児を各 30 人受入れ、各々 1 室ずつ設ける。 ・幼児用のトイレは年中と年長で兼用する計画とする。（トイレの手洗いは保育室内の手洗いと兼用。） ・幼児ロッカーを計画する。
	テラス	約 130 ㎡	・0 歳児から年長の保育室に接して設ける、外周に建具を設け屋内とする。 ・手洗い場、下駄箱を設置する。
	遊戯室	約 300 ㎡	・水飲み場、倉庫を適宜設ける ・年少、年中・年長の保育室から直接出入りができるように計画する。
	調理室	計約 75 ㎡	・幼児用の食事やおやつを調理するものとする。 ・食材搬入の検収室とロッカー室（WC 付）を適宜設ける
	職員事務室	約 60 ㎡	・研修施設部門の受付を兼ねる。 ・病気等の幼児などの為の医務室を適宜設ける。
	便所	約 25 ㎡	・職員や保護者のための便所を設ける。 ・車いす使用便所を設ける。
教材倉庫	適宜		
ロビー	約 50 ㎡		
保育士研修施設部門	研修会議室	約 80 ㎡	
	研修資料室	約 160 ㎡	・開架書庫、4 人掛けテーブル 3 つ、ビデオリファレンス用の机を 3 つ計画する。
	指導者研究室	約 60 ㎡	・湯沸し室を設ける。
	図工研修室	約 75 ㎡	・図工準備室を適宜設ける。
	音楽練習室	計約 50 ㎡	・エレクトーン練習室 30 ㎡、ピアノ練習室 20 ㎡の 2 室とする。
	ロッカー室	適宜	・研修者用の男性用、女性用を各 1 室設ける。
	便所	約 25 ㎡	・車いす使用便所を設ける。
ロビー	約 75 ㎡	・自販機コーナーを設ける。	
倉庫	適宜		
その他	エントランスホール	約 50 ㎡	・風除室を設ける。 ・上履き履き替え用の下駄箱を設ける。
	電気・機械室	約 220 ㎡	・地下 1 階に設け、ドライエリアを付設する。

(注 1) 上記の床面積の合計（適宜及び地下室を除く。）は、1640 ㎡となる。

要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内（寸法線は枠外でもよい。）に、黒鉛筆を用いて記入する。

下表により所定の図面を作成し（フリーハンドでもよい）、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1 階平面図兼配置図 1/200	建築物の主要寸法（柱割り及び床面積の計算に必要な程度）を記入する。 室名筆を記入する。 ダクトスペース、パイプシャフトの位置を図示し、それぞれ DS、PS と記入する 1 階平面図兼配置図には、次のものを図示する。 イ．断面図の切断位置 ロ．建築物の出入口 ハ．地階部分の位置（点線で図示し、床面積を記入する。） ニ．ドライエリアの位置 ホ．駐車場（台数及び出入口を明示する。） ヘ．駐輪場（台数を明示する。） ト．ごみ置場 チ．通路・植栽等 各保育室、遊戯室、職員事務室、研修会議室、研修資料室、指導者研究室、図工研修室の床面積を記入する。 2 階平面図には、それぞれ直下階の屋根（ある場合のみ）を図示する。
(2) 2 階平面図 1/200	
(3) 断面図 1/200	切断位置は、保育所部門（遊戯室）と研修施設部門を含み、建築物の立体構成（1～2 階）及び屋根形状がわかる断面とする。 なお、地下 1 階は記入しなくてよい。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1 階床高、主要な室名を記入する。 はり及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表

1～2 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。